

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

松山東高等学校

学校番号 (20)

評 価 実 施 日		令和 7 年 2 月 10 日 (月)	
委員	氏 名	所 属 等	備 考
	近 藤 高 俊	学校評議員	
	二 宮 雄 三	学校評議員	
	村 田 裕 司	学校評議員	
	井 手 一 隆	学校評議員	
	井 上 敏 憲	学校評議員	
	林 尚 文	元PTA会長	
	宇津見 亮 子	八雲保育園	
	山 内 仁	松山市立道後中学校	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
1 目標の設定及び達成状況について 自己評価表では、低い評価の項目も見られるが、設定された目標値が高いことから、この状況で良いと考える。高い評価は得られなくても、高い目標を目指してもらいたい。 2 豊かな人間性の育成について 教員対象のアンケートでは、人を思いやる豊かな人間性の育成の達成度が比較的低かったとのことだが、これは教えてできるというものでもない。普段の学校生活や部活動などの中で育っていると、期待したい。 3 保育園での交流学习について 主体的な学びの場としての保育園での交流学习を評価したい。ただし、年1回の実施なので、欠席した生徒への配慮を期待したい。 4 協働的な学びの充実について 皆勤率の向上等、コロナ禍からの回復が進んでいるように感じた。コロナ禍以来、個別の学習が中心になってしまったが、学習面でも生徒が互いに学びあう場面を充実させるなど、人とのつながりを重視した教育を推進していただきたい。 5 グローカル事業の成果について 生徒の探究学習の成果として、生徒の出身小中学校の小中学校での出前授業という話があったが、すばらしい取組なので、ぜひ、継続していただきたい。 6 地域を愛する心の醸成について 県外に進学後、地元に戻りたいと考えている生徒が多くなっていると聞き、心強く感じた。今後とも、松山の良さを生徒に伝えていただき、将来、地元に戻る生徒を増やしていただきたい。	○理想とする生徒像を実現するために、現状を踏まえて、目標を適切に設定し、生徒、教員、保護者間で共有することで、モチベーションの維持や成長につなげたい。 ○学校行事や部活動等を通じて、豊かな人間性を育む機会を充実させ、生徒同士が互いに尊重し、協力し合えるような学校文化の醸成に、今後とも努めいきたい。 ○交流学习の事前・事後学習を充実させ、学びの効果を高めるとともに、欠席者に対しては、文化祭での園児招待等の催しへ参加を促すなど、代替の学習機会を提供したい。 ○生徒が主体的に課題を設定し、調査・研究・発表を行う探究的な学習活動を充実させることで、生徒が協働して課題解決に取り組むことのよさを実感できる機会の提供に努めていきたい。 ○生徒の自主的な活動として始まった出前授業の効果を評価し、継続的な活動となるよう、支援に努めていきたい。 ○グローバル事業を通じて、探究学習における地元企業や団体との連携を強化し、生徒が松山の魅力を考え、発信する機会を今後とも充実させていきたい。